

問1 次の文は、近年の社会的養護の地域化と市町村の連携に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 一般的子育て家庭と社会的養護を必要とする家庭が重なるグレーゾーンにある家庭への対応が重要であり、市町村の児童家庭相談や要保護児童対策地域協議会、子育て支援事業等による対応が重要である。
- B 親子を分離して施設や里親で養育する場合でも、できるだけ、地域の普通の家庭的環境で養育できるよう、グループホームや里親での養育が基本であり、地域の中で社会的養護を行えるような支援体制の整備が重要である。
- C 社会的養護を担う施設や児童家庭支援センターは、市町村の要保護児童対策地域協議会に参加して、市町村の取り組みと連携し、場合によっては市町村からの委託を受け、地域で専門的な相談指導を充実させていくことが重要である。
- D 児童家庭支援センターは、第1種社会福祉事業に位置づけられた相談支援施設として保育士の配置が義務づけられており、市町村との連携について積極的に取り組んでいくことが期待されている。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | × |
| 4 | × | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |

問2 次の文は、諸外国の社会的養護の歴史に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A イギリスでは、1834年の「新救貧法」において労役場制度が採用され、劣等処遇の原則により孤児や貧困児童等においても非人間的な処遇が行われた。
- B イギリスでは、1870年にバーナード（Barnardo, T.J.）が、浮浪児などを保護する施設としてバーナード・ホームを設立し、小舎制を採用するとともに里親委託も試みた。
- C イギリスでは、1942年の「ゆりかごから墓場まで」を保障する「ベバリッジ報告」を受け、1946年に要保護児童の処遇に関する「カーティス報告」が出され、さらに1948年に「児童法」が制定された。
- D 1960年代にデンマークやスウェーデンから、知的障害児・者のノーマライゼーションの考え方に基づく、施設隔離運動が始まった。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | ○ | × | × |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問3 次の文は、近年の社会的養護の取り組みに関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 平成9年の児童福祉法改正で、養護施設、教護院、母子寮の名称及び機能が見直され、児童自立生活援助事業（自立援助ホーム）及び児童家庭支援センターが創設された。
- B 平成16年の児童福祉法改正で、児童養護施設と乳児院の対象年齢が弾力化され、必要な場合には児童養護施設に乳児を、乳児院には小学校就学前の幼児を在籍させることができるようになった。
- C 平成23年に厚生労働省局長通知が出され、「心理療法担当職員」、「家庭支援専門相談員」、「個別対応職員」の配置が、すべての児童福祉施設に義務化された。
- D 「児童福祉施設最低基準」（昭和23年厚生省令第63号）を「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」に改称し、最低基準に規定されていた各基準を「従うべき基準」と「標準」の二つに区分した。

（組み合わせ）

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問4 次の文は、「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」（昭和23年厚生省令第63号）に規定されている設備に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 乳児院（乳幼児10人未満を入所させる乳児院を除く。）には、ほふく室を設けることとされている。
- B 母子生活支援施設には、母子室を設けることとされている。
- C 児童養護施設には、集会及び学習等を行う室を設けることとされている。
- D 情緒障害児短期治療施設には、心理検査室を設けることとされている。

（組み合わせ）

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | ○ | × |
| 3 | ○ | ○ | × | ○ |
| 4 | × | × | ○ | × |
| 5 | × | × | × | ○ |

問5 次の文は、「児童養護施設入所児童等調査結果の概要（平成20年2月1日現在）」（厚生労働省）における乳児院の養護問題発生理由に関する記述である。正しいものを一つ選びなさい。

- 1 「母の行方不明」よりも「父の行方不明」が多い。
- 2 「母の精神疾患等」よりも「父の精神疾患等」が多い。
- 3 「母の就労」よりも「父の就労」が多い。
- 4 「父母の離婚」よりも「両親の未婚」が多い。
- 5 「養育拒否」よりも「次子出産」が多い。

問6 次の文は、近年の児童養護施設における小規模化の課題に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 職員が1人で多様な役割をこなすため、職員の力量が問われる。
- B ホーム内のできごとが本園や他のホームに伝わりにくく、職員の子どもへのかかわりが閉鎖的あるいは独善的になる危険性がある。
- C 人間関係が濃密となり、職員は子どもと深くかかわれるので、やりがいもあるが心労も多い。
- D 家庭的養護のため、職員に調理や家事の力が求められる。

（組み合わせ）

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | × | × |

問7 次の文は、障害児の入所施設に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 福祉型障害児入所施設には、主として肢体不自由のある児童を入所させる福祉型障害児入所施設がある。
- B 福祉型障害児入所施設には、主として知的障害のある児童を入所させる福祉型障害児入所施設がある。
- C 医療型障害児入所施設には、主としてろうあ児を入所させる医療型障害児入所施設がある。
- D 医療型障害児入所施設には、主として自閉症児を入所させる医療型障害児入所施設がある。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | ○ | × | ○ |

問8 次の文は、児童自立支援施設に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 入所による利用も、通所による利用も可能である。
- B 「児童養護施設入所児童等調査結果の概要（平成20年2月1日現在）」（厚生労働省）における児童の平均在所期間は、約4年である。
- C 「児童養護施設入所児童等調査結果の概要（平成20年2月1日現在）」（厚生労働省）における養護問題発生理由で、一般的に「虐待」とされる「放任・怠だ」、「虐待・酷使」、「棄児」、「養育拒否」の合計は約1割である。
- D 入所している児童の小・中学校への就学の義務は、課されていない。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | × | × |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問9 次の文は、施設職員等による被措置児童等に対する虐待に関して規定している「児童福祉法」第33条の10についての記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 心身の正常な発達を妨げるような著しい減食又は長時間の放置に関する規定はない。
- B 著しい暴言又は著しく拒絶的な対応その他の被措置児童等に著しい心理的外傷を与える言動に関する規定はない。
- C 身体に外傷が生じ、又は生じるおそれのある暴行を加えることに関する規定はない。
- D わいせつな行為をすること又は被措置児童等をしてわいせつな行為をさせることに関する規定はない。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | × | ○ | × | ○ |
| 4 | × | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | × | × |

問10 次の文は、児童福祉法による児童入所施設措置費に関する記述である。誤ったものを一つ選びなさい。

- 1 学校給食に必要な経費として、「学校給食費」がある。
- 2 入進学に際して必要な学用品等の購入費として、「入進学支度金」がある。
- 3 夏季等特別行事に参加するために必要な交通費等として、「夏季等特別行事費」がある。
- 4 家庭復帰を促進するための面会に必要な保護者の交通費として、「家族関係調整費」がある。
- 5 年末における被服等の購入費として、「期末一時扶助費」がある。